「ゆとり教育！！??」
市民の声より

水頭京子（主婦）

「ゆとり教育の弊害」

さる、3月15日、読売新聞の夕刊に、副会長澤田利夫先生の学力調査の結果が、上記のテーマで大きく取り上げられました。

私共、「学力低下」については、非常に気になっていたので、私の友人、先輩、子どもを通った幼稚園で知り合った方、子どもから大人まで電話で何人かの人話しを聞くことが出来ました。2人（私の子ども）の通う小学校のクラスメート、祖父母もいます。特に幼稚園で知り合った人は、市内外の10校以上的小学校に通っているので、もし、参考になる様でしたら思い出書きかせていただきます。

NO1、（子どもが小4女、小1男の母（35才）元中学校英語講師、市内の小学校）

澤田先生って以前、国立教育研究所にいらした方でしょう？と前置きし、全くその通り、子どもは勉強が仕事、今甘やかせ大人になって困るのは本人なのだから、授業内容は今のままで週5日制に十分対応出来るはず。（たとえば、1日6時間授業する）

NO2、（小4男、小1女の母（37才）元保母さん、鎌ヶ谷市の公立小学校）

学力低下は認める。3割削減したら今よりも勉強しなくなると思うけれど、週5日ならしかたが無いと思う。

子どもは友達と遊ぶことも大切。私も子どもが休みの日に、一緒に少しの時間でも勉強して頑張ろうと考えている。

NO3、（小4女、年長男の母（35才）専業主婦、市内の公立小学校）

うちの子は今でも授業内容を理解するのが精一杯、家でも、1時間は勉強している。先行って困らないように3割削減が实施されると、子どもに合った参考書や問題集を使って勉強させるしかない。3割削減も贊成させるを得ない。

NO4、（小4女、年長女の父（34才）県立高等学校教師、私の子どもと同じ小学校）

全くその通り、生徒の学力は目に見ええて低下している。高校の数学では、1学期中に、1人5回は黒板の前で解いても理解度を確認するのが効果的な手段、テストは過去問を研究しているから平均点が高い、宿題は他者のノートやトラの巻き写しの人が殆ど、でも、現行のまま週5日じゃとても無理、3割削減すれば問題演習に多くの時間を使えそう。同校の教師は（削減に）贊成多数・・・悲しい現実。

NO5、（小1男、年中女の母（28才）、パート、子どもと同じクラスのお母さん）

意味が分からないけれど、私も学校行ってた時に習った事は小2の九九く
らいしか完全に分からない・4年生の分数は分からない。小数のかけ算忘れた、息子はチャレンジ（進研ゼミの通信教材）やらせている。子どもは私の様な落ちこぼれになってほしくないけれど、ガリ勉もイヤ。読み・書き・そろばんが出来ればいい。将来は手に職をつけて働いてもらいたい。大学行くより大工になってマイホームを作って欲しい。3割減るなら苦労しなくて済むかも。

NO6、（高２女、小６男、小１女の母（40才）保育士、子どもの同じクラスのお母さん）

澤田先生、私も知っています。分数を分割分数で教えるから分からなくなると言った内容の本を書かれていらっしゃる体験の良い先生でしょう？ごもっともなご意見です。長女（高２）の高校の先生からお話がありましたが、20年以上前の現代化カリキュラムつまり、私の世代で評価が２の1人でも学校によっては5をもらえるくらい学力が低下している。国語では、辞書を引き時間も十分取れないし、数学は演習不足、理科では実験観察も出来ない、英語社会はひたすら暗記、これでは勉強嫌いや増えて当然のことです。全く同感、先生は3割削減したら“楽になる”とは考えてほしくないとおっしゃっていました。「減った分、自ら問題を見つけられて解決策に取り組んでもらいたい。一番知的好奇心が旺盛な年代なのだから」とね。今までの様に「学校だけで十分」の考えでは通用しないと思う。子どもが小学校の時代は親がしっかりと教えて、中学校に入った後から子どもに質問したいと思う。思春期になれば親に対してもプライドが傷つけられたくないから本気で取り組むでしょう。そのためにも小学校時代はしっかり見てあげたい。

NO7、（友人の娘さん、神奈川県内の公立中学2年）

私の入っている部（プラスバンドは毎年上位入賞の伝統のある学校なので、大会前はいつも帰宅が8時過ぎ、それからお風呂に入って、食事して、机に向かうと10時ごろ、ひたすら疲れていって、その日習った事の復習で終わり、宿題は朝食（6時）の時にやる。私の学校は2003年からは毎日7時間授業だって、後輩は可哀想だ。だれのための「ゆとり」なのでしょう。3割減っても今のままでもどっちでもいい。大学や高校は本当に勉強したい人だけ行けほしい。私も中学を卒業したら好きな絵を書くことを生かせる仕事が出来ればいいけど……..

NO8、（私の友人の息子さん、茨城県の公立中学3年生）

先生がいつも言っている。昔、つくばの研究所にいたエラーイ澤田先生の報告では「君たちの学力は確実に低下している。ゆとりの教育のつけだ」と言っている。特に、茨城県は全国で2番に学力が低いらしい。だから、オレの住んでいる真壁町は小中学校とも夏休みも冬休みもしっかりとドリルの宿題があった。4月から入学する高校（つくは市の平均レベルの学校）は3割削減は行なわず、1日7時間授業で対応すると説明があった。それが良いか悪いかは少なくとも3年を過ぎなければ結果は出ないと思う。分数の出来ない大学生ね、そんなヤツが何で大学に行くのか、どうして大学せるのか、納得いかない。勉強したいヤツだけが
進学すればいい、17、8才で進路決めるのもダメ、17才になっても異動体験してみるのもいいかも、ひまだから17才の犯罪なんて起きるんだよ。飛び入るもダメ、どうせ20を過ぎればタダの人が多いでしょう？自分で働いて入学資金作って進学すれば今よりもグンと質の良い大学生増えるよ、親もムリしてパートしてじゃ割に合わないよ、学力低下は国民民に「しっかりろ！！」とばっかけているんだよ。森さんだけ悪いわけでもないし文部科学省も本質に戻って教育を考えろ（手紙原文のまま）

NO9，（幼稚園同窓生のおばちゃん（73才）義父のグランドゴルフ仲間）

今の子は早くて他の子と競争のために習い事や塾にかよわれているから、大好きな10代の伸び盛りにキレて伸び悩むんだね。そして、ほめて、認めれば自分の欠点も素直に認められるし、人の良さを認められる器の大きい人間に成長できるんだ。小さいころは遊び、体が大きくなる10代は勉強・スポーツ、友達との付き合いを大切にすれば大人になって本当の学力がつくと思う。おじいさん、おばあさんになっても覚えているのが本当の学力。授業内容3割削減が心配ならいつでもおばあちゃん達が力になるよ。亜美の甲より年の功だよ。

NO10，（子どもの同級生のおじいちゃん（81才）農業を営み学校に協力的なる方）

学力の低下はインスタントラーメンの様な即効果を求める教育が問題、肥料作りに始まって、種をまいたら、悪天候にさらされなければ本当に良い作物は出来ない。良い条件で良い結果は何の感動もない。知恵をふりしのって考えて行動する。失敗の繰り返しが大変、昔の道具はもっぱら先祖様の優れたカンのかたまり、便利すぎる生活を時には休んで、知恵をふりしのる経験が大事、決まっただから（3割削減）となく行動することだ。人間そんなことで本当に頭は悪くならないよ。

NO11，（長女のクラスメート4年女）

勉強する内容減ったら、おばあちゃんが教えてくれると言ってる。（頭がいいんだ。何でも多くしている）だから、どっちでもいい。

NO12，（長女のクラスメート4年男）

幼稚園の時から「男は大学くらい出なければ」が口にくせ、公文やジェーンの英会話にサッカー、今は野球チームに入っている。小学校の近くをたくさんの高校生が通るけれど服はだらしない物を食べながら自転車二人乗り、「究極のバカ」としか思えない、高校なんて行きたくない。大学はイイヤっだけ行け！！習う事へらなら勉強していつも100点とって、うるさい母さんにお「文句あるか？」と言いたい。大賛成だ。

NO13，（長女のクラスメートの母（39才）中2男と小4男）

私は現代化カリキュラムの世代、とにかく授業が進むのが早く、学ぶ楽しそれを感じる余裕がなかった。生半可な10の知識より、確かかな7の実力の方が学力は向上すると信じる。3割削減＝楽とは子どもに考えさせたくない。7を10以上に伸ばす教育を願ってやまない。
N014，（長女のクラスターメイトの母（40才）パート、小6男と小4女）

新聞に書いてあったことは全く同感、でも今の子どもの教科書は4年生までしか分からない。ひそかに、子どもの教科書を見て勉強している。やはり、知る—＞分かるのは楽しい。私は落ち着いたので子どもは何とか授業について行かせたい。むしろ、3割減ったなら、その時間は子どもと一緒に勉強して学ふ楽しみを味わわせたい。

以上が手紙や電話で今までに回答のあった方の意見を書き出して見ました。決して心から改革に賛成していません。澤田先生のご意見を認めながら、教師、親、子どもが協力し合い少ない内容を如何に大きな内容に発展させるかを考えています。子どもは知的欲求心のかたまりだし、1つを10にも100にも発展させる力を持っていました。昨年の講習会で「1日に5分の親子の会話」を私は提案させていただき、实行して1年、5分の会話が1時間に及ぶこともあります。いくつか例を示すと、四角形の面積は「たて×よこ」で統一したらと４年の長女。正方形は長方形の特別なもの、平行四辺形もひし形も変形すれば正方形か長方形になる。だから、「たて×よこ」で求められ、その他の四辺形はいくつかの長方形の和と言っている。それから分数も仮分数や帯分数も出て来たし、小数も限りなく0に近いものも数直線上に並ぶ、今まで習った小数も整数も総て分数になると言う。でも、分数で表せない不思議な数が絶対あると断言している。社会で習った人密度も算数なら計算して同じ人数になれば同じ密度だけど、千葉県の様に平地が70％の県と全国平均的な30％のところじゃ同じ1000人でも住みやすさは違うし、4年生なら男女で同じ体格だけど大人は男女差があるので、男女比や都道府県の平均年齢も住みやすさと関係するのは？という。夏休み43日間の最高気温の変化も今年は4年間のデータと比較し、北と南、東北や関東甲信越と比較も試みた。昨年は夏は東北や甲信越が東京以上の暑さだったと分かった。同じ平均気温＝同じ暑さとは言えないと疑問をぶつけ。年較差、ばらつき、年間平均気温とばらつきの関係、疑問はつないのでゴミの問題でも、新聞紙一枚なら、「たて×よこ」の面積、資源ゴミとして束ねると「たて×よこ×高さ」の体積、単位もcm$^2$からcm$^3$と変わる。私達はcm$^3$に近づく様にする努力が必要だと訴えてる。学習のチャンスは学校だけじゃないはず、家庭の中、外にいくらでもある「日暮らし機に向かいてはめはや「机上の空論」公園でどんな角度に広がっている枝や葉が美しいか、平地とジャングルの上からでは同じ形には見えない。「お風呂でも浴槽からあふれたお湯から自分の体の体積が計算出来るのでは？」なんていった会話もあったし、トイレではトイレペーパーの厚さから使った量が計算出来ないか？とか、台所で大根やこんにゃくを切って、立体の切り口の形が切り方で異なることの発見、特に、「2つの変わる量」を学んだ3学期は「同じ面積の長方形のたての長さが変わればよくも変わる。でも面積は一定、これってグラフにすると今まで見たことのない形」と言う。2002年に6年になる長女は反比例を学習しないかもしれない、でも、こうしたところで学習のチャン

-133-
どどう変わるのか？ そして、どんな会話が飛び交うのかすぐに楽しみです。これから親子で話す機会は減っていくばかりでしょう。でも「1日5分の会話」は大人になるまで続ける心がまえています。

それから、子どもが学校の公開授業の様子の写真的載った学校便りと市内の子ども新聞、教育まつと、本校児童の保護者へのアンケート（ゆとりの学習とは関係ありません）を同封させていただきますので、もし、ご参考になればぜひひさご活用下さいます。

取り急ぎ書かせていたったので、乱文、乱筆をどうぞお許し下さいます。

かしこ

平成13年3月22日

水頭京子

長野 東様
『参考資料』
アンケート報告（千葉県A小学校父兄対象）

テーマ「新学習指導要領でどう変わるか？」

Q1：2002年に「ゆとりの教育」が実施されることを知ってますか？

知っている、内容は知らないが聞いた子とはある・・・ 57.2%
知らない.................................................. • 42.8%

Q2：授業内容の3割削減を知ってますか？

具体例を知っている（1つでもよい）… 10.1% 計
具体例は知らないが聞いたことはある… 22.3% 32.4%
知らない.................................................. • 67.6%

Q3：「ゆとりの教育」を知っている人にお聞きします。

学力の低下への心配は？ ある（69.0%）
ない（5.4%）
わからない（25.6%）

Q4：授業内容3割削減を知っている人にお聞きします。実施に賛成ですか？

賛成………・ 7.8%
わからない…・ 51.2%
反対 ……・ 7.6%
その他　○条件つけて賛成（教える内容が減った分、時間をかけて教える）
○基本的には賛成出来ないが、週5日制になる事を考えるとはない。
Q5：「ゆとりの教育」による学力の低下が報告されています。対策があれば答えて下さい。（いくつでも可）

○家庭学習を定着させる。
○理解度の低い子どもには補習授業をさせ、分かるまで教える。
○地域の人材（元学校の先生だった人や学習塾の先生等）を活用する。
○毎日、保護者が子どもと学習しているところを話し合いつつまづきの早期チェックに努める。
○宿題を出す。
○保護者のための学習会の実施。

Q6：週5日制実施について感じていること、心配なこと何でも答えて下さい。

○学校（校庭、教室）は使えるのか？
○親の仕事が週5日制が実施していない人もいるので、土曜が完全に休みになることは反対。
○犯罪が増えるのでは？
○遊べる時間が増えお金を使う様になるのが心配。
○全く家で勉強しなくなるのでは？
○親は土曜くらいゆっくりしたいが、子どもの友達が早い時間から来るのでは？
○親子でゆっくり話し合う時間が増えると思う。
○博物館や資料館等で生きた学習が出来る。
○一家そろって外出する機会が増えそう。
○遅寝、遅起きや間食等、健康面が心配。
○休みの日は思いきり子どもと体を動かせそう。
○お手伝いをさせる良いチャンス。
○地域のお年寄りの世話をしたり、ゴミ拾いをしたり人の役に立つことをさせたい。

回収率 39.4%